



## 2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイレックスコーポレーション  
 コード番号 7279 URL <http://www.hi-lex.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺浦 太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ担当執行役員 (氏名) 芦田 安功 TEL 0797-85-2500  
 四半期報告書提出予定日 2021年6月11日 配当支払開始予定日 2021年7月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年10月期第2四半期の連結業績（2020年11月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	115,492	8.4	3,494	171.4	4,672	183.3	6,004	—
2020年10月期第2四半期	106,578	△14.1	1,287	△69.8	1,649	△67.7	446	△83.9

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 10,356百万円 (—%) 2020年10月期第2四半期 △2,560百万円 (△157.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	157.86	157.61
2020年10月期第2四半期	11.74	11.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	249,428	180,447	66.6
2020年10月期	240,510	172,771	65.6

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 166,075百万円 2020年10月期 157,765百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	11.00	—	23.00	34.00
2021年10月期	—	17.00	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,600	14.2	5,600	—	7,700	—	7,000	—	184.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
 連結業績予想の修正については、本日（2021年6月4日）公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想と実績の  
 差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期2Q	38,216,759株	2020年10月期	38,216,759株
② 期末自己株式数	2021年10月期2Q	165,888株	2020年10月期	194,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期2Q	38,035,224株	2020年10月期2Q	38,019,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3【1. 当四半期決算に関する定性的情報】「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(追加情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張、中国経済の動向、金融資本市場の変動、新型コロナウイルス感染症の変異ウイルスによる感染再拡大の影響に加え、世界的な半導体不足といった新たな問題も発生し、不透明な状況で推移いたしました。さらに、これらの状況が今後も継続し影響が長期化することも懸念されております。

各地域別での世界経済は、同感染症による深刻な影響が続くなかで、一部地域ではワクチンの接種が開始され回復基調も見られますが、各国でワクチン接種の進捗や変異ウイルスの拡大状況に差があることから、依然として予断を許さない状況となっております。

米国では感染症ワクチン接種の拡大やバイデン政権による経済対策等により、景気が持ち直す動きがみられましたが、2月に米南東部で発生した寒波を契機としたナイロン樹脂原材料等の供給不安、自動車向け半導体の供給不足の長期化の影響が懸念されます。

中国では、政府による強力な感染症の再拡大対策により、感染状況は落ち着いており、景気は堅調に推移している一方で、自動車向け半導体の供給不足による自動車メーカーの減産等が懸念されております。

アジアでは、米国・中国での景気持ち直しの影響を受けて、製造業を中心に復調しつつあるものの、インドを中心とする南アジア・東南アジア諸国で同感染症の拡大が深刻化し、経済活動への悪影響が懸念されます。

欧州ではワクチン接種が進み、同感染症による経済低迷からの回復がみられるものの、感染症による影響は依然として続いており、感染拡大の動向によっては、景気が下振れするリスクがあります。

日本経済におきましては、感染再拡大の深刻化により緊急事態宣言が再発令される等、依然として先行きが不透明なもの、今後のワクチン接種の開始による経済活動の持ち直しが期待されております。

自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比2.3%減の456万台となりました。海外では、米国の自動車生産台数は前年同期比0.3%減の506万台、中国の自動車生産台数は前年同期比32.1%増の1,459万台となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、従業員および関係者の健康と安全を最優先事項とし、時差出勤やリモートワーク等の実施による同感染症防止策を徹底しつつ、生産性の向上や経費削減といった合理化による収益の確保に全社を挙げて努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は、北米では半導体不足による顧客の減産により、また、東南アジアおよび南米地域ではウイルス感染症の影響により顧客の生産が伸び悩んだ一方で、中国、日本、韓国および欧州においては顧客の生産が増加した影響等により、売上高は1,154億9千2百万円（前年同期比89億1千3百万円増、8.4%増）となりました。

営業利益については、北米地域では主に米国での労務費・固定費の増加により、欧州地域では売上回復に伴う利益改善があるもコンテナ不足等による輸送コスト増加の影響により、東南アジア・南米地域では売上が低調となった影響等により利益が伸び悩む一方で、日本では原価低減と生産性向上および経費削減等による収益確保、中国及び韓国では昨年度の同感染症の影響による販売減から回復基調となった影響により利益は向上し、34億9千4百万円（前年同期比22億7百万円増、171.4%増）となりました。

経常利益は、主に持分法による投資利益3億2千2百万円、受取配当金2億1千1百万円および受取利息1億7千6百万円による収益を計上した一方で、当第2四半期連結累計期間において計上した為替差損が8千7百万円となり、前年同期実績の6億3千2百万円から減少した影響等により、46億7千2百万円（前年同期比30億2千3百万円増、183.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益45億2百万円および補助金収入3億4千7百万円を特別利益に計上した一方で、固定資産圧縮損2億9千7百万円を特別損失に計上したことから60億4百万円（前年同期比55億5千7百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ89億1千8百万円増加し、2,494億2千8百万円となりました。主として、投資有価証券が44億8百万円減少したものの、有価証券が47億7千7百万円、流動資産のその他が36億1千9百万円、原材料及び貯蔵品が27億8千1百万円、受取手形及び売掛金が26億5千4百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ12億4千1百万円増加し、689億8千万円となりました。主として、未払法人税等が18億6千4百万円、支払手形及び買掛金が16億9千1百万円それぞれ増加し、繰延税金負債が8億8千9百万円、長期借入金が4億円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ76億7千6百万円増加し、1,804億4千7百万円となりました。主として、為替換算調整勘定が52億3千1百万円、利益剰余金が51億2千8百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が25億2千8百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向や新型コロナウイルス感染症の先行きが引き続き不透明であること等を踏まえ、2020年12月11日の決算短信で公表いたしました2021年10月期(2020年11月1日～2021年10月31日)の通期の業績予想を修正しております。

詳細については、本日(2021年6月4日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	49,359	45,695
受取手形及び売掛金	35,227	37,882
電子記録債権	1,527	1,569
有価証券	3,642	8,420
商品及び製品	8,691	9,947
仕掛品	2,578	2,640
原材料及び貯蔵品	10,825	13,607
その他	5,067	8,686
貸倒引当金	△496	△603
流動資産合計	116,423	127,845
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	22,085	22,255
機械装置及び運搬具(純額)	21,086	22,110
工具、器具及び備品(純額)	2,559	2,783
土地	7,991	8,201
建設仮勘定	4,431	5,008
その他(純額)	2,349	2,339
有形固定資産合計	60,504	62,698
<b>無形固定資産</b>		
のれん	1,959	1,872
その他	2,332	2,235
無形固定資産合計	4,292	4,108
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	53,675	49,266
長期貸付金	43	31
退職給付に係る資産	435	435
繰延税金資産	1,633	1,573
その他	4,713	4,651
貸倒引当金	△1,214	△1,182
投資その他の資産合計	59,286	54,774
固定資産合計	124,083	121,581
繰延資産	3	1
資産合計	240,510	249,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,856	28,547
短期借入金	3,809	3,670
1年内返済予定の長期借入金	644	1,612
未払法人税等	801	2,665
賞与引当金	1,697	1,484
役員賞与引当金	17	20
製品保証引当金	2,976	1,961
その他	11,804	11,631
流動負債合計	48,608	51,595
固定負債		
長期借入金	2,799	2,399
繰延税金負債	11,695	10,806
退職給付に係る負債	2,167	2,314
その他	2,466	1,865
固定負債合計	19,130	17,385
負債合計	67,739	68,980
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,657	5,657
資本剰余金	7,343	7,847
利益剰余金	127,635	132,764
自己株式	△339	△287
株主資本合計	140,296	145,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,501	24,973
為替換算調整勘定	△9,595	△4,364
退職給付に係る調整累計額	△436	△514
その他の包括利益累計額合計	17,469	20,094
新株予約権	112	76
非支配株主持分	14,893	14,296
純資産合計	172,771	180,447
負債純資産合計	240,510	249,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	106,578	115,492
売上原価	93,722	100,433
売上総利益	12,855	15,059
販売費及び一般管理費	11,568	11,564
営業利益	1,287	3,494
営業外収益		
受取利息	276	176
受取配当金	255	211
持分法による投資利益	117	322
電力販売収益	37	37
その他	697	710
営業外収益合計	1,384	1,456
営業外費用		
支払利息	113	68
為替差損	632	87
電力販売費用	19	17
その他	256	105
営業外費用合計	1,022	279
経常利益	1,649	4,672
特別利益		
固定資産売却益	44	32
投資有価証券売却益	—	4,502
貸倒引当金戻入額	—	102
製品保証引当金戻入額	524	—
補助金収入	—	347
特別利益合計	568	4,986
特別損失		
固定資産売却損	3	3
固定資産除却損	108	36
固定資産圧縮損	—	297
製品保証引当金繰入額	249	—
特別損失合計	361	337
税金等調整前四半期純利益	1,856	9,321
法人税、住民税及び事業税	1,147	2,265
法人税等調整額	△120	227
法人税等合計	1,027	2,492
四半期純利益	829	6,828
非支配株主に帰属する四半期純利益	382	824
親会社株主に帰属する四半期純利益	446	6,004



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	829	6,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,134	△2,528
為替換算調整勘定	△272	5,861
退職給付に係る調整額	103	△79
持分法適用会社に対する持分相当額	△86	274
その他の包括利益合計	△3,389	3,527
四半期包括利益	△2,560	10,356
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,026	8,629
非支配株主に係る四半期包括利益	465	1,726

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。